

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	都市整備課土木グループ
作成年月日：平成28年9月1日		

施策名	①緑の保全と緑化の推進 5-1-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(1) みどりあふれる快適な都市環境づくり	①緑の保全と緑化の推進
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●緑地の保全や緑化活動を進めるとともに、緑に関心を持ち、緑づくりに取組む人材を育成します。 ●地域の風土に育まれた寺社などの緑や防風林、公園や緑地帯の緑の保全と活用に努めます。 ●町民の環境緑化に対する意識を高め、地域が行う緑化活動を支援します。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●国道沿線では「ボランティア・サポート・プログラム」として地域住民と自治体、道路管理者が協力して道路の清掃及び緑化等の活動を行い、地域にふさわしい道づくりを進めています。 ●行政区、町内会が自主的に花植及び除草作業を実施し、緑の保全と緑化に取り組んでいます。 ●都市公園の整備により、緑地の保全が図られています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●緑あふれるまちづくりを進めるために、寺社や住宅、事業所などの多様な緑を守り育てる必要があります。 ●緑を大切にし、町民主体の身近な緑を促進するため、緑化意識を高める必要があります。 ●うるおいとやすらぎのある道路空間を確保するため、清掃や緑化を推進することが必要となっています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名		数値化	
				成果指標 (総合計画・施策評価)		可能	
						不可能	
				代替指標 ※成果指標がない場合		○ 未計測	
				※特定のデータ化等が困難であるため指標なし		可能	
					○ 不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
	目 標						
	実 績						
達成率	%						
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が(ボランティア・サポート・プログラム)国、町と協力して8号沿線の清掃、花植など美化活動の推進が図られている。 ・地域(行政区、町内会)の花植、除草などの取り組みを支援することで環境美化に対する向上が図られている。 	
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			B		
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】 事務事業の種類	【必要性】 事務事業の必要性	【妥当性】 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業 評価結果 (方向性)		事業費(千円)	
					目標	実績						H27実績	H28予算
1	緑化活動推進事業	(1)	都市整備課	緑化活動団体数 「VSP」活動回数	19	①団体	町民の環境緑化に対する意識を高め、地域が行う緑化活動に対し支援を行う。 また、「ボランティア・サポート・プログラム(VSP)」として地域住民、自治体、道路管理者が協力して8号沿線の美化活動に努める。地域の美化活動に対し、国が花苗等支援物資を提供し、町が活動を支援する。	Ⅱ	Ⅱ	1 現状のまま継続	2,120	普通	
					4	②回/年					2,840		
2													
3													
4													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	2,120
H28予算	2,840

②H28に実施した新規事務事業					
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)	
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	地域住民の活動に対し支援することで、緑化や景観保全への意識向上が図られることから、今後においても支援を継続する必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の 妥当性 A	

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)								
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。			事業の 方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号		平成29年度以降 の予算の方向性	
	A							
	B		1					拡大
	C							○ 維持
D					縮小			